



学校だより

R6年度
No. 2



令和6年12月24日
福島県立だて支援学校

校長あいさつ

校長 本田 知史

日頃より児童生徒の「学び」を支えて頂いている保護者の皆様、地域の皆様、並びに関係機関の皆様には、大変お世話になっております。開校して2年9か月が経過いたしました。日々児童生徒は楽しく、笑顔で、だて支援学校に通学しております。

今年度は学校経営運営ビジョンに【児童生徒の願い】として「みんなが自らあいさつできる 明るい学校」を掲げました。これは児童生徒から提案があったこんな学校にしたいことを高等部の生徒会がまとめてくれたものです。来校してくださる方々から挨拶が良いとお褒めをいただいております。

今年度、各学部での取組みについて、小学部は、大田小学校との交流及び共同学習において、1回目よりは2回目と、回数を重ねるごとに児童同士の交流がスムーズで、両校の児童がお互いに「相手をおもいやる」気持ちが育ってきました。

中学部は、総合的な学習の時間で取り組んできたSDGs(持続可能な開発目標: Sustainable Development Goals)について「だてっこみらいフェスティバル」でステージ発表を行いました。「だて支援学校中学部作業学習でのSDGsへの取組」、「各企業への訪問で得た企業、社会等への取組」、「自然エネルギーについて」、「20年後の生態系の変化について」、それぞれが調べ、検証したことを動画、自作の歌等で効果的に表現しました。

高等部生徒会は、能登半島の豪雨災害への募金を企画し、登校時に保護者、児童生徒に呼びかけました。身の回りのことだけでなく、ニュースで見聞したことに興味関心を持ち、今、自分たちができることを考えて行動しました。

それぞれ学部で、学校教育目標の達成を目指し、「心身を鍛えながら、相手のことを思い、自ら考え行動する」ことが、確実に育ってきました。

今後とも、本校に関わる全ての方々のご期待に応えられますよう、また「地域と共にある学校」となるよう、教職員一同、子どもたちと本気で遊んで、本気で学んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

中学部より

中学部3年生は、9月25日から27日の2泊3日で、東京方面へ修学旅行に行ってきました。移動は往復新幹線を利用しました。1日目は、マクセルアクアパーク品川で、イルカのショーやプロジェクションマッピングが投影された色鮮やかな水槽で泳ぐ魚を見ました。2日目は、ディズニーシーで、アトラクションや水上ショーを楽しみました。3日目は、両国国技館を見学したり相撲部屋でお相撲さんと写真を撮ったりしました。また、総合的な学習の時間に「SDGs」の二酸化炭素を減らす東京での取り組みについて調べたことを、実際に見て知ることができました。とても思い出に残る3日間になりました。



保健部より

保健部では、今年度は「性に関する指導」に重点的に取り組んでいます。「プライベートゾーン」「体の変化」「人との間のとり方」など、学級の実態に応じ担任と相談しながら指導の内容を検討し、実施しています。クイズ形式や実践を交えたりしながら学習を進めています。小学部5・6年組の授業では、赤ちゃん人形を用い、命のつながりと体の成長について考えました。



地域支援センターより

7月29日(月)に『地域支援センター「だてっこ」特別支援教育研修セミナー』を開催しました。講師に宮城学院女子大学教授・白石雅一先生をお迎えし「自閉スペクトラム症とこだわり行動～理解と対処と活かし方の演題でご講演いただきました。先生がこれまでに実践してきた内容の動画を用いて具体的に分かりやすくお話していただき、大変充実した研修となりました。参加者は、校内外教員121名に上りました。



(学校だよりは、だて支援学校 HP (<https://date-sh.fcs.ed.jp>) からご覧いただけます。)